

■手島精一 文部官僚・工業教育推進者。東京工業学校長を創設して校長となり、工業教育の最高指導者となった。

てじませいいち

北斎没・・・1849＝ 江戸桜田の沼津藩邸で藩士田辺直之丞の次男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 4歳：

五ヶ国条約・1858＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝11歳：同藩士手島右源太の養子となり，

大政奉還・・・1867＝18歳：

明治維新・・・1868＝19歳：精一と改名した。

初の日刊新聞1870＝21歳： 藩校明親館に学んで秀才と謳われ，

渡米し，ペンシルバニア州イーストンのラフェット大学で建築学および物理学を学び，

さらに岩倉遣外使節団の通訳として渡英，苦学して近代産業技術の調査と資料蒐集に精力を注ぎ，

明治6年政変 1873＝24歳：

佐賀の乱・・・1874＝25歳： 帰国。

初の民間工場1875＝26歳：東京開成学校監事に就任し

三つの反乱・1876＝27歳：同校製作学教場事務取締兼勤を命ぜられた。杉亨二の長女春子と結婚。文部省に出仕，フィラデルフィアで開催されたアメリカ独立百年記念万国博覧会に出品事務担当として参加し，

西南戦争・・・1877＝28歳：教育博物館長補，

大久保暗殺・1878＝29歳：パリ万国博にも参加して工業教育の重要性を認識し，上司に建白。

明治14年政変1881＝32歳：*東京教育博物館長となる一方，東京職工学校の創設にも尽力して実現させ，

民衆の啓蒙教育に多大の貢献をする。

内閣発足・・・1885＝36歳：

帝国憲法発布1889＝40歳：東京教育博物館が廃止されると，

帝国議会始・1890＝41歳：東京職工学校長に就任し，校名を東京工業学校と改称。

大本教・・・1892＝43歳：井上毅文相のもとに，文部省普通学務局長から，

郡司千島探検1893＝44歳：実業教育局長となって「産業教育振興の実業補習学校規程」と，

日清戦争始・1894＝45歳：*「実業教育費国库補助法」を制定後，東京工業学校長に復帰。

以後，一貫してこの学校の校長を勤め，事実上わが国工業教育の最高指導者となる。

田中正造直訴1901＝52歳：校名が東京高等工業学校と改称される。

日比谷公園・1903＝54歳：

日露戦争終・1905＝56歳：

この間，海外の万国博覧会や内国勲業博覧会の審査員などとして産業の近代化にも尽くす。

明治天皇没・1912＝63歳：

民本主義・・・1916＝67歳：*老齢を理由に東京工業学校長を辞し，

本格政党内閣1918＝69歳：没した。